



武門話卷  
476

古師

春林軒法方錄

膏方之部

用膏三綱領

凡几毒腫或附骨疽虎胫痛之类ニハスラギニブス次ニコルダバシリ

右擊

先鋒

ノ重子ノベツジリ膿氣少有ト見ハバシリヲ用エ膿次第ニ出テ

順ニエケバジキニシニヤウヘレシク惡肉殘テ今一下イキ枝ケニシケ

レハアボスニ用エ枝ニヘハ又太去ニシニヤウヘ

疤痕ノ类ハ先ニタ次ニハジリ松ヤガテ膿氣アリト見ハセツバ

レリヲ用ヒハ置膿セヌ内ニ膿ヲハヤリ取子ハラヌ故疤痕ノ

类ハ早ノシカケテ行ニ段ニ内愈アガリ皮ノウラハニ少々膿

氣アリテ汁出ル者ハセヅツカンフラナリ三日ヨ経テ膿大抵ニ  
又ケタル處ニテ愈内マデガタケバフセツカンフラヲ用或頑内  
齧化シテアル者ハセツツケ内枯ラシテ置ハ外愈テ頑内ハ  
カリノコルソレヲ切テスツ若頑内タシテ取ヒハヨレ初ノニヲ  
取ラントスレバ痛ニ不止

### 膏藥煉法

凡膏藥ヲ煉レト欲マ先器ヲ設レ風炉或火炉ニテ火ヲ方  
ニレ是ヲ家キ構ニキ处ニ才キソニニ脚子ヲ埋ノ其土ニ鍋  
ヲカリヘシ扣傍ニ鍋一つカヘナベシ火毎炭ヲ火筒洗手盆ヲ  
入盆 盆膏藥鉢 布二尺許 柳枝東ヘナレ枝二尺許ニ切等ヲ設テ

扣火ヲ強クレ元ヲ以テ炉上ヲ圍テタクニ膏藥ノ类種々ナシ皆  
凡薦名ニユ。ラストニムハ硬キヲニニニクエントニムハ軟ナルヲニ  
ニ凡旁ニ盆ヲ以水ヲ貯ルモノハタキ加減ヲ見ゲタタニヨクタキテ  
一滴ヲ水中ニ浮ルニ直硬ニリ珠ヲナスモノハヨレヌテ珠ヲナ  
ササルハ木タケザルヘト知ヘシ油ニモ茅ヨリテ後ハ皆如是  
凡膏藥ニカブルフレサル二字勝煉リヤウヤシヲ酒製ニメ水毛レ其上ヘ砂  
糖ヲ少レ加ヘ煉置トキハカブル、ナレ松脂ヲ製瓦法油ト松  
脂ヲ煮ル寸山度子ヲ入煮ルベシ丸ス六膏藥ノカブル、ナレ文  
膏藥ニカレタルニハ菊芥十二大豆ヲ加ベ候ヘバ即愈又松脂  
カレサル方ハ松脂ニ酒ヲシタクニ煮之重砂糖ヲ加へ者テ用

○大玄

一名ニラヤウヌ又ニブストアルホ或弓人ノ竜玉膏又称黒竜  
膏万能膏或云此方山で外科撮要

人ノ節当飯 川芎 生地豆 大豆 玄参 木通

肉主 木香

扁砂

各ニ十

杉脂ノ油

杉脂

蜜蠟

蜜蠟

漢茶

茶

麻布

乳香

各半

光明丹

三十三

香油合

以

油

蜜

油

蜜

油

蜜

油

蜜

油

蜜

油

蜜

右十一味廉ホトナレ香油トモニ瓦鍋ニ入テ夏ハ宿冬ニ宿浸  
シ慢火ニテ煎レ某種枯浮ニ黒色ニ至リ柳ノ棒ヲ以テ攪テ  
烟上ルラ度トス炎ヲ離レ布ヲ以テ漉テ渣ヲ去リ杉脂ノ油密  
臍ヲ下シ又熬シ溶化シテ火ヲ離レ少シ令ルラ待テ丹ヲ丁々攪テ  
又熬ニ少シ許ツ棒ニ挑テ冷水中ニ滴シ硬軟ヲ試テ火ヲ離レ没  
芋乳香ホヲ下シ攪テ和匀ノ火氣ヲ去膏ヲ取上テ一塊ト

ナニ兩キヨ以テ更フ一百匁許ヲ納メ貯ヘシ凡膏ヲ煉下欲ハ其六  
タク臨同先ソ剉ハキ者ハ剉ミキスベキ者ハキミ分量皆掛  
分テ器ニ貯ヘ其傍ニツラヌレ然ルニ此膏中乳沒ニ味子バニア  
リテ未成難シ故ニ是ヲメク六初十味ノ某中八十二味正ニ油  
ニテタクニ但前十味ハ一宿油ニツケオキ乳沒ニ味ハタクニ臨テ  
之ヲアルニ板此膏至テ硬シ寛十ニ從テ斟酌メ油ヲニスベシ拘十二  
味ヲ油ニ入タキ一滴ヲ水中ニ放テ珠トナラ度トメ火ヲ下レサフ  
シテキテ广布ニテコスニ若サニサス直ニコセハテ布キレニコヤ  
ケル故ニサメ过ニテ蠅十ドヘ六底ニカタル(此ノ加減大差ニ下  
皆倣~但シ鍋<sup>ウツ</sup>爰<sup>アキ</sup>其中ヘコレニ如斯ハ乳沒濃

皆トルニ故ニ未ニ充ニハ不及勿論 杉脂モ油ナクハ杉脂ヲ直ニ没  
乳ト一ツニ入ヘシ板蠶ト丹トハ後ヨリアルニ尤蠶ヲ先ヘ入キヘツ  
キテ後丹ヲ少ニヅハレカキニハシテキラ止ムヘカラス丹ヲノ後ニ  
黒色ニ成ニカキ一ハシタケレ

△大赤 イングアントニイニテ是称赤童膏山外科撮要

香油ミツ 楠子油 蜜蠶ミツ 杉脂油ミツ 皮明丹

辰砂ミツ 一方ニ丹石樟脑

右六味ノ油 柳子油 蜜臍ミツ 瓦鍋ニテ慢火ミテ前ニ蠶ヲ

トガシ尽ノ杉脂油ヲ下シ搅テ和匀ノ次ニバナレ濃シ 搅セヨシ丹

ヲ

ヲ下シ搅テノ后朱砂ヲトレス搅テ鴉ノ貯スシサメザル内ニ

丹ナゼヲ入ヘ黒色ニナルニ瓦色グリノ膏ハオリウ。アホス。ヤシラ  
テ。此膏皆同シフニシテ其本色ノホヨキサメ噴ニ入和匀スベシ  
サメタニサヘ必黒色ニナルナリ

○青蛇 アボットロウルニ豈大和家号腐印

一鉢烏賊甲  
乳枯四三合味  
トニ置ニ計二十  
土手入ニ計四十  
緑青ミツ 和十五文

松脂水蜜ミツ 香油四合 醋三合

右九味油ヲ煮テ沫ノ消ニテ焼テ暫时サシ漉テ次タニカキセサシ

鳥賊骨枯若乳香ホコリ 桧木丹房ホウジ 入レヌヨリサルヲシテ緑青ミツ

ヲハレ此鳥賊骨以下ノ茶味ヲ入ルニハ甚加減アリ疑ニテ指タ

ツケ加減ナ見ベシサメ付モニドリニハサメ过ルカヨシ 小シニテモサ

ノサヘ枯若丹房ニリテ未葉皆ツキリ堅テニラヘ最後二種  
青ヲ入其次ニ酢ヲ入ル酢ハ別ノ鍋ニテタキ一合ニ全煮一メテ是  
モヨリサシヨキ入レテ能擅ルニ色白リ灰色貞ユル比品貯方  
ナバ一宿ヲ経テ青色ニルヘ扱カキニセ見レ内裡ハ尚色淺レ  
是ハ下ヨリ擅セくスベシ酢ニテ色ヲ上立引申故正面免角  
色ヨリ尤ニ是ニ幾度モナリ反シくスル中ニ全体共蒼色ニリ  
此ト春赫軒常ニ用处ノ法ヘ或ハ外科撮要ニ載ル久ノ  
青竜膏ヲ以エニ代フ是安アボスノ數方ヘ

○白雲 カシフラトニ是

油一升 白蠅膏唐土百六 椰子油四錢 軒粉 檀脑名鑑

右六味先ノ油ヲ煎シ消四度シ火ヲ下シ器ニ移シトクトサメ  
内ニ西味ノ末茶ヲ除々ニ入手ヲ止ス伴ルニ椰子油中程入ル  
得トカヲ入カキハサヘ沉ヒテ交ラヌ所凡ヘ

○左突

木飛松脂三日

萬蝶十四日

庚脂三日

油七合

生松脂百錢油三合 濕青茶舗ヨリ求メ入ルニ六冬三十月夏二十月ニズベシ但シ蘭名千ヤニ可也

右ニ味失用尤處ノ鍋蓋ニニ尺許ノ柄付の如斯ヌ一個

竹ニ尺許ナルラトリキ火候タル時火ヲ下差ぬ火存少ト鍋内ニ入ト  
火直ニ發スルニソレヲ直ニ蓋ヲナセハ火消スニ兩ヒ火附ケ火發

ソレハ蓋ヲナレぬ是不凡三十度許ニ及ブノ如ア始メ下す早

矢、一向火合セヌ又運ケレハ火モ今蓋ヲナニモ消セヌ又火發ノ  
久消セザレハ油大ニヘルニ右ノメク登也テアワヨキラサレバ  
印傳キニ星大モリテ（其中火ヲ巻スルノケ威暴大モリニス  
久ク下ニ下キサメキレバ後六モヘヌ故再火ニ上火氣ヲナニテス  
ルカ成ハシモ油氣ニ因ズ火勢ヨリヘトシルベシ根少シノ  
メ善シニテモ不消難矣ナル財火氣ニ上ヨリ者ニテオ  
ニキルモラサラムベジ直ニ消ルヘ此青豆ハ魚ニテ脣有  
火ヲ下メ火ヲ付ヒ泡ニミシバ火ヲ下レヌ火ニ上ニ但火ヲ發  
ニシテ貯ヘシ不然未熟之者ハス達ナル且至テ未熟ノモ  
ハ阿蘭陀ナヤシラ直ニ求テヨリ一匱貢ノ製法先ニ此内ナ

ヤニラコニラヘ直ニ膏ヲ煉ル此チヤン鍋中ヘ油合莫外系  
モ入タクニ葉味めシ

松脂シロモモ五合 纖半升 鹿脂三升 油七合

左四味チヤン匪ニ者沸ニテ山ニ支様ニハドナリ  
ニテ拌セ吳沫皆油レヒナリナリテ油色黒リ在モ少シサ  
ニシテ广布シウテユニテ之ヲ貯ニ星春林軒常用ル處ニ異方  
ナリ本方カス。ハル是アリ別ニ附錦人

○右擊 ハスマギニユスラニセ

杏油夏安息香カシ石榴皮 紫花丁枳和大豆

各半錢 茄子ニギ胡蘆カボチャ己十錢 莖根三十錢

右ハ味共ニワカレニテ煮濃テ査ヲ去リス鍋入

蠶百夷 テレビニテインニナ夷

右ニ味ヲ入レ燥合メ鍋ヲ下シ之ヲ貯フベシ

○前衝 ユルタケンフラトモウス者是ニヌニ番トヨテ

ユルタケンカニフラ界

○後衝 アボスカニフラトモウス者是ニ

アボス カニフラ

右ニ味ノ膏ヲ交合で用ルニ

○摧充 ヒクヒニワニ也

松脂水也 蠶百夷 丁子三十肉圭十五丁香皮幹 椰子油

三夷 香油類百二十

右七味蠶ト油ト鍋内ニ入レ武火ニテ熬化シ生絹ヲ以テ  
コレ渣ヲ去リ再鍋ニ入レ二種ノ葉モカリ入レ文火ニテ続ケタキ  
ヲ止メカキ匀ヘ磁器ニテクサメ火毒シモル

○決勝 サニキテスマラユーズス是ニ左モ麒麟膏諸割  
出血痛者

バジリコニ 麒麟膏 乳膏 没享 硫黄

右土呻交セ合セ貯之

破敵 アボスバジリ芝也

アボスバジリ 右ニ味交合貯之

○先鋒

ユルヲアト是ニ称翠牛雲膏方中本ニ四草雲艸師家

加ノ印紙口傳即年一石ミコナホ名血留サト称メ道傍

溝邊ニ多吉人ニ度ニ春ノ吹アリ此膏凡腫れ疼痛

欲腰不腰者 松脂三匙 黄蠟百粒 油半合 翠牛雲膏三粒

右四味ヲヨリ並シ沫ヲテ消メ便異ニキ布テコレ貯ル此方有

林軒常ニ用ヒ處ニテ略方ニ本ヨリ半載入但松脂及蠟サ一財

入ハ沫其ナリテ薄ルニ大半錫テ少シ許リタカナレ

ハタ流ヒタルニモほシ清々速ニ速沫消スレビ量モ火燐ヨリ

ハラアラ付ヒアリメセヒバ速沫消スレビ量モ火燐ヨリ

者テゼハ尖消ハ難アリ沫消ニテ後水ニ滴油ノ通ヘ加減ヲ

試テ火ヨ下スナリ

○中夷

才、リウン

山梶子ナニ戈油失ハシ墨色ミル近者也

香油一升 黃蠟半合 蔊金耳 二合 桔十二枚

右四味先上ノニ味ヲ煮样消スラ度トシ布ニヨニサルラ候  
テ下ノニ味ノキヨア授セ勺ヘ貯ニ此春林軒常ニ用ヒ處ア  
略ス也本方ハ別ニ記ス

○遊奕

テレヒギル是ニ又ミニイト号

香油合半丹四十五

右ニ味先香油ヲ煮ルテ三时アリ此許ヲ水中ニ滴ノ其  
凝結珠子ヲナスヲ度トシ丹ヲトスベシ此時極ノテ火ヲ  
緩クシ人捧テ以テ手ヲ止メス授セ一人微シ母

入ルニ沸上ルヲ見テ急ニ火ヲ下レヌ少許水中ニ投  
シ其硬軟ヲ試ム可ナルヲ見孟内ニ便テ貯メ也  
古十四方ハ居恒修煉メ貯ル所一日七闕ベガラ  
又其異号ハ唐李衛公十四陳白三本ク

### 金瘡膏藥諸方

此一項ノ膏方總テ別傳ニカル故ニ除ク

名凡

カシナラ セ分 黒鉢 リロフル 二分末

右ニ味交合用墨鉢ヲ燒法 鉛ヲ土器テセテ火上ニ方

イテ溶立ニ時テ硫黄ヲアリカナルニ妙スレバ火モ出ルナリ

火モ數次不レハ自ラ黒色ニナルナリ

仙人膏 惴溫疤痕一切腐吸却良肉上ヶ愈之

煙牛自然汁 一合 仙人牛自然汁 一合

香油 壱 椰子油 家猪油

野猪油 一合 牛トカル油 各四錢 蜜蠟 十錢 枯荅 一錢 膽荅 燒盡

右九味ニ味自茲汁ト四味ノ油ト共ニ煮自然汁水氣乾キ  
尽ルト待ヘニテ知ニ法紙捺條ヲ以鍋ニサン入油ヲ浸下十三度見  
ヒヨク另ルナリ其水氣をルヲ見蠟ヲ下シ溶化シ尽ソ火ヲ下  
シ漉テ枯荅ヲ下シ損セ丹荅ヲ下シ授テ貯之

エニグエニナード

演芹 梅汁合香油半升 セイテミ十枚 乳香 没系各一白卷

二辰

右トタ汁油凡三者立レバ沫吹上ヒニタスラ之ヲカキセテ生時  
許モ子リアル時皆消ヒテ此時ニ及テ諸美ヲ下シ挽セタブニ  
テ濃シ貯之

鶴運膏 諸瘡癰瘍小兒軟癆

鶴蔓 蓮葉 桃葉 珊瑚各二十

右麻油一升ノ中ヘ入ヒ煮之濃去渣更下松脂蠟豆丹各等ニ  
品慢火煮化す

イケゴヤコン 治臘瘻

白蜜瓣苦酒五錢青十枚膽卷六錢代枯卷

右酢綠青ヲ一呑ニテ之ヲ收ルニ宿白蜜枯卷ヲトレ久火三意  
ス不止手カキツヤ其色赤ル度トシ火ヲトノ貯之一説ニ酢一斗半ト青膏成後之ヲ加

エニグエニトフレイト一

疤痕瘍

生茄子百枚 蝦牛二十枚 駄齒覓一茎 蕁子葉取自然一升即  
鶴蔓ナリ

右四味先茄子ヲ煮テ汁ヲトリ中ヘ駄齒覓蝦牛ヲ投シ煮ルト  
暫時濃テ濁テ去華纏汁ヲ下シ再沸シ貯之

止血氣

青木素生麒麟血

右以水二升煮青木童取一合下末令和匀摊紙乾貼而臨事取用

潤肌膏 ナミエホウ

香油四十錢当取生紫根 ミツタケ 今密蠟 ミツハチ 或十錢或十九錢

シテイカニ

右丸末煉法如常

先手油ヲ首當取ニシテイカラ次ニ入レテ者而後紫根ヲアゲホリキニテ目見テ以テ下スニ

蜜蠟ニ水ラフキミラニ人金メトハ色ヨリ出ルセ

○茱椒シナガラ

茱椒シナガラ 赤螺カタツムリ 燒酥漬カツマニスルラク 次若

荆芥 防己 各三錢 青黛 一錢

右七味為末以酥或葢上薑汁付之

玉龍膏

山鳥頭ヤマトリ 炒

干姜 カイガ 赤芍カシワ 炒 白芷 ハイヂ 天竺星 テンジクエイ

右六味熱酒調和敷患處

コルダアト

称先鋒此方暖成サル者之ヲカラ暖氣アヒ者孰モ

シハ托裏消毒飲ラ用ル場合ノ腫物ニ立ス或小癰或癰或破裂

牙二用家方ニ千金内托敷ラ油ニ漬スヘ一宿し能葱テ清ラ云

リ法ノ如クニ子リ用ニ此ユノ膏ニ内托ノ功アリ故カコ合ヌタメニレ以

テ 其ラカルベレ

○シニミヤウ 太玄是ニ

此方毒氣ヲ除スル功アリ或打撲腫痛ラ止紅毛ニ此方ラ万

筋膏ドテ諸毒ヲ解不スリ凡屋十足跗手指踝肘臂十ド  
ニコリテ安サル者ニ之ニ用ユスヘテ決ア毒ヲ解ストエリ法  
毒コオス功アリセ方ニテ愈不云ハナシタ、以寒ニアメラ  
ス様恩ヘ尼格別ニ愈スト云功ハナキニ然レモ全其功ナキニ

ハ派不少ハ愈ス功アリ故ニ紅絲疔ナトヒヘ膚切ヨスリ向ノ  
ノハ延鍼ノカツ貼スニセ方入ク龍王膏以岱其功相門

口ニイニヨ 梅大赤

主治微末ニテ法療膚肉尽半腹水尽テ後愈ヘカラニ痛

ヨ止腫ヨ消シ肉ヨ上ケ皮ヨ生ス又外瘡湯火傷ヨ愈ス妙之

口腐功 アボストロウルン是ニ

七方ヨクレ膚肉ヲ吸惡膿血ヲ去リ拵ヨサマシ肉ヲアリ瘡口腐

爛メ收ニラサルモノニ點メレメタル所ノ功アリセ方瘀血ニサル

功アリ故ニ毒ヨリテ腫痛者ハ點メ腫痛ヲ消セシムニ疣

痔ナニ其功用ヲ知ベシ一功腫物膿血ヲ吸フ故反肉レ

タルモノニ貼メ西肉アトルナリ左突ヨリ重キ处用

口白雲 カーフラトン是ニ

七方能治ノ瘡瘍ヲ乾カレ愈ス旦腫痛ヲ治モ功アリタ

ハ抑氣味元處アリ去ナガラ寒ニ抑ル亦人血ニ止肉ヲ

生天然レモ深疵ニ不用ヘ矣瘡湯火傷淫瘡膿或アリ

矣等ニ古メ其功用ヲ知ベシ

又曰丹毒金瘡下疳楊梅瘡湯火傷、毒輕キモノ膏ヲ貼入  
ハ反テ痛ヲ生ス故ニ金瘡ニモ大ナル者ニ用捨スベシ下疳楊梅  
瘡毛毒深キモノニハ不貼湯火傷ニ牡蛎ヲ令シ貼ス疳瘡熱  
劇キモノモ方ニ左穴ヲ交貼鷄卵ニ棟合スルよし痛ル痴癩温  
瘡ニ効アリ其外指ヲ切鼻ヲ穿疣贊ヲ切瓦新ニ疵ヲ設ケ  
シ貼ノ佳也 又疳瘡毒深キモノハ先左穴ヲ貼シ毒薄クナ  
リハ痛出其先膏ヲ貼入

口火ソリ

火方諸物瞳トナシトスニ逃或は膿氣アリテ全孰セサシ塗  
三角工穂ニ膿ヲ吸肉ヲ生スル之ニ物病一症アリテ寢症ア

リ虚候見元モニ其虛寒ノカツニモ方ヲ用エ或瘡黑腐ニ  
タルモノ或產後ノ風毒時トノ類ナ付行テニ腐切バシリシ  
用ス惟方ヲ用テ是ニ是穂吸之故ニ  
又一切時抑渴狀之者其勢ヲ引上膿ヲ吸之疳瘡毒劇計  
多キ若貼不毒充ニ後ヒ痛山ウレニカシラオ、リウニ見合  
貼入尤流注每軟癰瘤等ニ之ソメイ・キヤニ角エ

口火ソラキニラス

右擊是也

諸腫物止痛解热散毒若散セサシ草ク膿引上化セム

又曰火ソルタヨリ瘡令ナレハヤレヌコルタヨリ瘡今ニ丸ニ用

口前衝ニジ

比方金瘡ノ愈レ事ニテ 酸木綿ノ次ニ之ヲ又に故ニ毒  
ト名リ瘻疵矢疵等ノ深キモノニハ不用比方 愈不功アル  
故ニ下々愈ス肉ニ上愈レハ下ニ麻物殘ル故必愈レ深瘡六  
セリコルタラ用ルニ俗ニ云瘻疮久ケ愈サルモノニ用テヨレ  
ロフセリカシララ 後衡是ニ

濃汁过半尽愈サントスルニ毒氣主タ尽ニサルモノ且瘡口  
腐爛收マラモニニ至スモ陽合必痛アレ压モ方ヲ用ユレハ  
痛止シ。先生云瘻欲愈シ微毒者貼モ膏

ロヒグルマレ 摺丸是ニ

桂瘀膏ヲ敷スル効アリコレノウニ似此方ハ單適ナリ又曰

主骨節疼痛或筋挛打撲也

ロサニキテスタラコ一子ス 称決勝

主治諸瘡出血痛者

ロフセツハリ 称破敵

此方ハスルトニ膿ヲ吸シ惡物ヲ去新肉ヲ生ス瘡瘍結毒膿  
汁連绵トノ不止愈カタキ者ニ之ヲ貼惡膿汁ヲ去愈ス  
ハジリヨリ見レハ一等スルドクバニリヲ用テ膿ヲ吸タヌ時  
ワタ跡ヘモ方ヲ用テ吸ヌシ

ロオーリウ 株中夷

此方諸ノ熱毒ヲ解ス膿アル者抗痛消腫新

久ラ不問毒ヲ解ニ執ラサニス膿ヲ吸愈疳瘡脣襄  
凡等ニシテ其功ヲ知ベシ結毒又ハ疔ニテモ熱痛充モ  
ノ必之ヲ用ニハ痛止カニフラ同冷徃ナレモ用レ反テ痛ヲ  
強シ抑レ故ニ尤热痛此方主之〇又曰水瘡石榴瘡麻瘡  
芋表位血渾ニテ為痛者或蛇蜂毒虫風大牛馬ニ  
傷レ热痛スル者

ロテードギル

蓋膏三用

ロワロラル

此方治ハカンフラニテ乾レ<sup>足</sup>又者ニ用或浸淫瘡湯少傷

府肉尽

臘水出

難愈方

ロ翠雲膏

此方疮癰力サル及俗ニ云小兒ハ入子夏虫ノ糞金瘡破  
裂廉瘡疳瘡等ニシテ膿ヲ吸リ熱急而卻十トドキ  
ニツケテ跡ツケヅ髮ヲ生レ元ニ三十日サルニシ方ハ進膿ヲ吸專メ

ロヒゲルマシ

此方骨節疼痛或筋挛打攢ヲ主ル神瘀血ヲ安ル功アリ  
シニヤウニ似レモセヤウハタラキタレ此膏以草通也

ロアボストロウル

上方青竜膏ニ似テ能腐肉ヲ吸メ惡肉ヲ去リフセツト  
異ナル所ハ痛ヲ止メ頑肉有ラ久ク不愈者ニ用能スイナ  
コラモル

### 口承椒散

此方ハ毒有テ腫痛スルモノニ用キ能之ヲ去ス然ルニ瘀血  
犯者ニ及テ痛ヲ十不專虛熱瘡毒等ノ毒氣ヲ逐シ今毒  
虫ニサシタルモノニ雄夷アタガヘ水ヲ以烹入痛立ニ減之

### 口玉魏膏

此方ハ前ノ承椒散トウラハラノ効ニ前方ハ執痛ノ薦ニ用  
テ是ノ方ハ執ニヨラス寒湿ニヨリテ大腫痛不者ニ用

### 膏方類方

#### 口大玄類方 卫ニバテストニシニヤウ

当歸 川芎 大黃 生芍 白芷 肉桂 苦参

乾栗大有七箇 擦葉 青木葉各一杏油

丹冬奇一斤十四  
夏秋一斤廿四

右前十味剉細又油内ニ浸ヒ一宿次日慢火亨熬ニ不味黑色  
ニテ至テ布ニテ漉シ渣ヲ去リ再火正セ微ニ丹シ下レ  
枝三テ手ヲ止メカキフセ水滴ニ珠ナルヲ度トス上方万粒  
膏ドメカスハ十五方ノ第一不

#### ロアーナストメイ子イ

諸腫物惡瘡趺撲損傷湿腫疾流毒凡湿遍身走痛胸背

腰脚酸痛無力湯火傷杖瘡痛痒諸苦多效者

川鳥

牛鳥各ニ当キ

芍藥

連羽

白芷

白欽

烏桑各ニ當キ

槐枝

桺枝

枣枝

桑枝

乳香

没藥各四

丹百二十克

ヨリヨレヨルセリン二两六十克

右煉修シニヤウニ同レ

左哭類方

カスル傳

松脂三十克チヤンサモホルトカル油百克セハルオイ十

七錢以野  
一百代之

右丸味煮數沸ノ后黑色ニナルヲ度トシ生絹ニテ庵ニ清

チアリ器入大毒ヲ去貯之

又楂林傳

セイラハメチヤン百克松脂三百克ホルトカル油六合

右油ヲ煎レヘキシトロカレ松脂ヲ入解ケルヲ又テ蠅蠅ヲ入減

良テ布ニテ漉貯之

又栗崎道悅傳

黃蠅タマ。ギサモアルホイカモ氣モニミ没藥ニモ桺

子油モ鹿油モ蛇モ牛油モ合テソシテイナシホル凡

カ  
牛油

右ナニ味シヨキツ成ニ慢合シ堅メテ可牛ノ粉モ少入ラ傳其人

又西先生傳

松脂一斤鹿油一斤牛油合香油各一斤  
百四十錢

又加須波留傳

ペキ半々 セイラ 半々 コルホーラ 二斤 ホルトガル一斤

右一度ニ煮沸立ルキ布ニテ漉冷レ貯之

先鋒類方

セイラ五十ギヨルホニヤ 半々 牛油二千ギ鹿油二千ギ野牛  
油サミ ラシトロニミ乙金洋十ハテレビシティナ日香油婢  
ホルトガルニ月

右ニ全ツ株芳ニ立布ニテ漉渣ヲカリ乙金ノキヲ  
入レ和勧貯之

又方栗崎傳

萸蠅三錢アルホイニ四十五ギ椰子油貝合牛油少鹿油  
ホントガル油少乳耆少沒藥少香油貝合

又方

萸セイラ四十五ギアルホイニセ十五ギ椰子油一錢半牛油九錢  
鹿油九錢雞油七錢アセトナー十七錢乳耆十錢沒藥八錢  
羊油三錢野牛油三錢多酒膏許

右

中京妙方

セイラ六十錢香油百五十錢テレミニ義乳耆十錢沒藥如

重病接タマシノソイカシテイニ未雄黃ウラク、桂カイ治夫藍カイ  
右蠟油コ者密スルキテビシコ入者立火ヲ慢ヲ乳設  
ノ入和シ布ミテ漉シ此ヨリ弥火ヲ微ヲ余革ヲ一品ハ徐シニレ

又二方加減

セイラ高タマシ唯至タマシ奇全タマシ重病タマシ

山梶サンカシ甘中ミナミ各十五タマシ南油コ一斤ハ即ヒ立火ヲ

左マイラ雌タマシ勇金コ之物ヲ除タマシテ余ハカ物ヲ油ト共ニ  
煮色黒タマシ片タマシ量ヲ漉シ再火上ケ投シセイラヲ加添セシムセシノ  
火ヲ下レサムシ候タマシテニ物ヲ又和シスル此方今加替タマシ若  
又ガスハ傳タマシ稀タマシ方

セイラニレイラハナホルトケル油一斤ユルホニヤニ裏マヌテ  
キス十枚メイラナテメナサコロウチニ・

又同

セイラニレイラハナホルトカル油一斤半ユルホニヤサマステ  
テキスナウキンサテメビニテイナニ

白雲類方

唐土サ五白蠟十二樟脑一或或カラフリヲソ一枝  
右油ヲ臘樟脑ヲ鍋ヲ入シ煮シ被シ演シ生絹ヲ以テ漉シ清ヲ去シ  
火立セ文火ニ煮シ徐シニ向カ下レキヲ止スカキセ  
勾磁ノ然ニ貯シ之ヲ火毒ヲ去ル

又外科明鑒載之

香油一合 唐土ニシキ 角石カクシ 白蠟ハマツ マリーカラアヌ  
十支龍腦トガリボウ 三支代片脑サクボウ 檀脂タントウ

右六味先油内ノ方リ カラアフスト 入サラサラト煎  
火ヒ 下シ 角石唐土トガクシ 技テク 再火ミヒ 上ヒ セ 蜘スジ 蜈スジ 技テク 清化セイカ モト  
候モ 龍脣トガリボウ 下シ 稠スジ 脘スジ 之

又西先生方

豕油シロ 半斤 唐土ニシキ 二十支 椰子油ヤシオ 半斤 桃養トモウ 龍腦タントウ 六支  
多幅タガ 力カチ 粉フウ 四两シヨウ

青蛇麵シオヘビ 方

蠟ハマツ 三十支 松脂マツシロ 水ミズ 二升ニリ テ ハビンニシキ 香油ハマツ 半支 金毫陀キンモド 十支 龍腦タントウ 六支 金粉

蜜膽苔ミツダク 明礬メイレン

右病者シテ 有リ 丁固トコトコ 文鹿モンブク 大鹽オオソル モト 丙火ミヒ 上ヒ セ 素ス 一枝  
更文銅錄モダクレク 三十支 酒サケ 今ハシ 技テク 稠スジ 脘スジ 之

又上方加減

白石ハマツ 半隻 松脂マツシロ 水ミズ 二升ニリ 鶴油ツバキ 椰子油ヤシオ 牛肉ウシ 木下ムシタ 仁

烏賊甲ウカイ 二十支 桃養トモウ 枯薑カクヤウ 暖脣ムカヒ 鹿油ツバキ 十支 緑青リョクジョウ

十五支 南油ナム 三合サン 朱砂スカル 三分サン

左四味先油トガクシ 除外ツクシ 分共ブンコン 素ス 有リ 仁ムシタ 陰山インセン 仁ムシタ  
火ヒ 下シ 少サム ト 待マタタク 六雪ロクセツ 下シ 和ハグ

白蠟ハマツ

又西先生方家秘

酙二升引至安息香半錢  
桔梗皮十六錢沒藥廿四錢金炉  
杓卅錢丹参草鉢霜二十四錢松脂四錢蜜臘一钱香油  
三百六錢青食右

又楠榔方

ノリ生テ自然汗者松脂半錢陳皮半錢乳香二錢セイラ  
黄ホルトガル油四錢椰子油十錢  
右ニ席ノ油一時煮松脂入後不須火蠟上臘茶ト入  
後更ニ多乳者又入布漿之

又黑烏傳

烹鍋十五錢アルホイン二錢牛肉八錢柳子油四錢鹿角  
水鷄油少ホルトガル油四錢

右共ニ煮布漿其上

胆茶四錢乳香明卷五錢綠豆食没藥三錢麝子油二錢  
多味鹽少用之

又同上

烹鍋三十錢アルホイン三錢牛油七錢鷄油六錢柳油十七錢鹿  
油桂丹参一錢乳香半錢明茶五錢綠豆酒製沒藥四錢  
ヒイ甲口五錢アヒセト一十錢麻油不量勿省

七五

又青竜膏又号瑞珀膏アボスノ異名

香油合蜜臘或牛脂松脂亦多金炉杓置半胆  
茶燒或枯柏半桶及桂皮没藥乳香沉院附玉立

綠豆生江

之油蠟脂亦慢火煮落之蜜上火候少數一處  
不消去少少撒半待全ノハ味候之下酒貯之

推光卷之

丁子葵松脂肉桂十五支高麗柳子肉三支高麗

又稱林膏

松脂二十支丁子葵肉桂十五支セイラニ十五支

ホルトガル短二十

五兩ア蜜松脂又溶化不作下茶

椰子油三支許

ヲ加テ初三味ノホリトレ次三蠟ヲ入ニクリードヨリ少堅ク煉

リ布テ鹿用大事ノ膏也

松脂一合丁香葵肉桂十支丁香皮四個子油四個子油

保苗登賈苗油右軟燥用

右擊類方

ムスラギニエスアンフラスト 檀林傳

大葵花精四分子ノ木脂或王乳香十支麻人半支

イソドリ蜜精桃木脂十六支白芷油葛麻油二十支

銀糸柏サニキヘキサ牛油

右四味ノ油ヲツニ煮立溶セテキラ溶ルシ見テ炉杓ヲ  
入カキフセ鱗モシ入蠅ヲ以テ硬軟シ節ス

又アンスヨレアシ傳

マリーワラキニス早食コムヨモニヤキ四ツ台ハ全云  
四ツユムニホハナアラテス異コロウチニキブムサルヘイ子四ツ  
テレメーテイナニキセイラアリ

右燒令レ用ムスラキニユスノ油左錫ノ

附ムスラギニユスノ油方

テアラキスアルテイサキセイモシヘイスコシソヘキセイモシ

ンソニトキ

右何モ細末ニス碗一湯匙中二撮ニ一筋ヲ経テ后温テ布ニテ  
コレ渣ヲ去リ其中ヘオントガルノ油又入分量見合ヘテニテ  
煉リ火止レ煮ニカラ水氣ヲ去ケ貯ニ

又加須波酒傳

ヨーリーカキスノ辛キアムモニヤキシカルバレ脂又ボバ  
ナク脂又サガヘニユキロウチニキセイラ福テヒヒテイ  
右共ニ煮沫消スルキ麗ノ時ニ

油合掛月四十五キ

春林軒丸散錄目次

- 端的丸 龕扇丸  
後七宝丸 繡七寶丸  
雞蔓丸 多雌鵝丸  
金声散 甲子二三丸  
夾鐘丸 至辰丸  
林鐘丸 雜賓丸  
應鐘丸 仲尼丸  
辰砂丸 姑洗丸  
倉公玄連解毒散  
紫圓 丹石丸  
承氣丸 伯州散  
速效膏肓丸回差丸

青州玄武丸

家方善膏丸之花神祐丸

家方心連丸

烏梅丸

当归地黄丸人参固腎丸

白附藤里丸子

杨柳散

赤蠟木香散五宝丹

通下再造散

金锁匙

打挂散

温中丸

消块丸

气虚丸

气速丸

豆肿丸

生脾丸

鹿乳散

理中丸

顺气丸

雞肝丸

椒桂散

鹿茸散

天不丸

蛤蚧丸

保代丸

硇砂丸

朱砂安神丸

消瘀散

惊风散

惊风丸

直降石

人参白朮散

立嗽丸

鹿胎膏

八味茵陈丸

黑神丸

產後一奇方失笑散

三更內消丸

冰硼散

賽金丸

二丁香丸

靈金丹

王蓮丹

土大黃膏反蛇散

雀目丸

蟾酥丸

桃子丸

雞壳應鐘散之味湯

春林軒丸散錄

端的丸 治黴毒結毒筋骨疼痛潰爛腐肉真敗不能生  
肌收斂者

川芎 五苓 川萸 桔榔 芳硝各四分木 遺糧  
各二錢 荆芥 連翹 烏蛇各五分半朱砂立分  
或半朱砂立分 右研極末糊丸空心或六分或九分服

忌物 油酢酒魚鳥土辛青菜煎茶房事

鰣臘丸 治黴毒癰疽或胎毒

輕粉二分 大玄 鰣臘各半赤小豆三分

倍白粉曰  
用三分或四分

右四味為末糊丸或加丁香五分金或作錢

龜門丸 治諸瘡結毒

梅肉 燭<sup>清</sup>性 山梔子 煉存性 巴豆<sup>去皮</sup> 輕粉 分滑僵

右五味為末糊丸<sup>各二錢</sup> 加滑石五錢

消毒丸 治瘡毒結毒疼痛 諸疾難動者

牛膝 輕粉<sup>各四</sup> 大黃<sup>錢</sup> 遺糧<sup>三錢</sup> 丁香<sup>一錢</sup>

右止味糊丸

後七宝丸

巴豆 丁香<sup>各二</sup> 大黃<sup>四</sup> 罂

春 右三味為末糊丸服煎七宝而後待早腐爛以後七宝

下之

續七宝丸 治七寶丸證而劇者

水銀<sup>三錢</sup> 硝石<sup>一錢</sup> 岩石<sup>各六</sup> 食鹽<sup>三錢</sup>

右四味先碎硝石合二味銚鍋中以岩鹽覆之以泥固封上  
火燒之半日而下火取其盞中之藥以糊為服之如服七寶丸  
之法

五星化毒丸 治微毒數年膠固沉深之者

白花蛇<sup>以反鼻代之</sup> 白鮮皮 鐘乳石<sup>各一錢</sup> 生乳<sup>一錢</sup>

靈鷲房<sup>一錢</sup> 辰砂

川牛膝<sup>一錢</sup> 乳香 雜丸雄互<sup>一錢</sup>

右十一味為末糊丸<sup>以辰砂為衣</sup> 每服三分量二夜一

甲字化毒丸

升广二钱 牛黄四分 生乳一钱 雄黄一钱 朱砂 乳香  
月红 五分 白僵蚕 穿山甲 白鲜皮 各一分 木香

牡丹皮 大黄 各二钱

九分

右十三味名剉为末糊丸如梧桐子大以朱砂为衣

雞蔓丸

治下疳結毒

子芩柏三錢 午膳姑一錢 雞蔓 三钱 輕粉 一钱 極製田螺

右為末糊丸

玄灑雞丸 徵毒結毒多年不愈枯瘦或骨節癰角  
或種成壞症得効速也

玄灑雞 足玄色佳之五爪毛 遺糧 五分 人參 三分 当歸 二钱

川芎 一钱 甘草 一钱

右六味為末糊丸以土茯苓湯下二十丸一百二十度

甲字二十九 松原先生傳今代甘草丸

玄芩 玄柏 大黃 輕粉製三分鹿頭霜六分  
右細末糊丸

金声散

大豆 八分 蕎麦 五分 川芎 五分 右三味為末酒服一錢 三分

王振丸

巴豆 三分 黑丑 木香 川芎 各四分 姜 二钱

右立味为末以白湯送下七分

服法先用神秘丸四隻月十日許而其夜金声散一支三分  
以酒送下之後用玉振丸七分以白湯送下之又用神秘丸  
十日許而金声散玉振丸如前丸三回也都三十日以为一周  
竜鮮化毒丸 治微毒結毒在苒紅年生種之異狀方  
見徵瘡約言

太簇丸

大黃十錢黃芩五錢人參各立右味為末糊丸服

夾鐘丸

硝石六錢大黃七錢甘中人參各二錢當歸一錢三分

作各二錢以上三味或

人參捲之勿焦煮如餳狀而下內硝石杵為四一方加生  
乳充其効速

姑洗丸

甘遂大黃白芥子三分右二味為末蜜煉為服又

為糊丸

仲呂丸

大黃黑丑子各六甘遂二錢右二味為末糊丸

此方平水丸  
金水腫無  
力名思得  
世号

獨賓丸

吳茱萸三花

永毛艾硝各二錢  
高陸四錢甘遂二錢

右五味為末糊丸

名甘連  
金連丸

林鐘丸

甘牛

亥連

大庚各半

右之味為末糊丸

車洞翁有  
所作之方

夷則丸

方豆

布不脂

淳石各四錢硝石六錢桃仁四錢

王德居方  
而曰火液  
火丸

南呂丸

大吉

甘山

入

七

甘遂一錢

火丸

大吉

甘山

入

七

甘遂一錢

右為赤糊丸

多財丸

大吉

甘山

入

七

牡蛎

角各一錢或  
作二錢

輕粉半錢

為之味為末以  
雞子白和傅療上

同楊氏家  
應鐘丸

楊氏家  
應鐘丸

主治凡血癥盛頭昏目赤大便難

穀

甘遂一錢

獨金丸

大呂丸

大呂

干姜

巴豆去皮

右之味元精大呂丸末研巴豆去皮蜜丸

金連丸

黃鐘丸

金連丸

黃鐘丸

大黃十枚 石膏一斤 通草五錢 右三味為末糊丸  
以二十三方 即東洞房所名十二律方也

消石丸 治腹不滿及人言我渴而腹皮口青筋者

消石

大黃

柏仁

大黃

柏仁

大黃

柏仁

大黃

柏仁

消石

大黃

柏仁

大黃

柏仁

大黃

柏仁

大黃

柏仁

辰砂散

小兒聾癥婦人嘔暉

干姜

甘牛舌一錢

辰砂

赤石脂

辰砂

赤石脂

辰砂

赤石脂

辰砂

倉公散連解毒散

玄参

大黃

柏子

大黃

柏子

大黃

柏子

大黃

柏子

白附散

支鼻燒毛蟹燒角不名者右三味以酒送下  
承氣丸  
大黃八錢 砂硝十錢 左三味為末糊丸  
紫肉千金方

代赭石 赤石脂各二錢 李仁四錢 巴豆四錢

右去皮去核

大黃十六錢 砂硝半錢 人參甘十四錢 章冬

右去皮去核

四產丸 固胸膈治胸痛吞酸煩心痞

今名消  
塊丸即  
人掌用方

吳茱萸二十枚 玄参半錢 右枳丸

久連丸 治胸膈急症同

吳茱萸 人參各二錢

家方養胃散 中暑腹痛

白朮 千萬 陳皮五分 甘草 茵木三分

右量事多末以白湯送下

連知養命丸 一切腹痛

楊柳枝三錢 五稜 白朮 千萬 故玄通代用當東  
和名也

若多 加椒 陈皮 茵木 各一錢

右細末細丸以泔酒浸少加布送下

家方心連散

一切暈倒及產前後金瘡出血目眩者皆

主之此方号四生散每歲殿  
下獻上之云方人考附子 留槽 人參各二十四

黃金 甘牛膝六胡椒一枚 白朮十三錢 或加丁香

右七味細末以白湯或水送下或蜜杵

家方心連散 中暑霍亂吐泻或腹痛或暈暈諸症

宜木炭平湯丸故故米三合以水煎服四十粒寒中浸剝之  
若寒中不效則多效矣

右細末或加冰水送下

家方竇會丸 治肝火

當硝 竇根 茄子 玄参 各十枚 木香 鹿角

杏ヨウ 右煎酒浸青黛 蘆薈各五錢

右半味為末蜜丸如赤豆大

三花神祐丸 一切溫熱沉積夜飲寒生諸病者主之  
甘遂 大戟 芫花各半兩 軒粉三分 杏仁一錢 左味為黑丑  
右味隔水為丸如小豆大初服九丸每服加五丸溫  
水下日三服以利為度

後瘡黑丸子

后觀子 半錢沉香一錢木香二錢玄連四錢桂枝三錢  
白芷味為蜜丸

烏梅丸治蛔厥得食即吐乍煩並止之丸

烏梅十箇 乾姜一錢 玄連半錢細辛 附子 桂枝

人參 玉柏各六分 当故 腸椒各四錢

右味末用醋半盞浸烏梅蒸爛去核和諸藥搗丸梧子  
大急服十九丸未飲下日之能瘳甚者多服取効

赤蠟木香散 瘰癧脹脹滿痛吐水

赤蠟 唐木香 瓜瓣木 右味為末以帛裹下

人參固真同出竹筒膚門各具飲

人參代炒山茱當故 玄蔴各四兩 玉柏炒半錢

熟地黃各四兩 藤澤泻大勝 玄参各四兩 味子百目陳皮

茯苓脂杜仲各半兩 甘草一兩 午夕右十五味納末

人分之一本  
有炒五十  
手之四字

通天再造散 濟瘡

黃金丸大蜜 皂角刺子十向丑生半炒半  
火

右四味為散未出時向車前子無灰酒五錢送下之或入

鼻六錢

○楊柳枝 治跌撲損傷

楊柳皮

五石異

小麦粉

童稚

右四味以粥或雞子白煙敷

又方

山梔子

麴粉炒辰砂各等分雄子向右以粥搗敷

春末軒五宝丹

鐘乳石亨瑠珀各一錢

真珠或下半口傳荷用  
尾張者倍用或二下半口傳荷用

朱砂三分

飞白麵三錢

右六味搗末合為十四貼每日二貼

遺糧十五錢忍冬草

右以水一升煎而取之去滓日以此五

計服前烹一貼七日服尽

忌物 塩酥油酒果鳥青冷力

辛茶食勿

金靈散

桔梗下

面

別有松柏之鐘乳不一錢砂三分

白

右四味以上土茯苓十錢忍冬草並十錢

火

法同上

○丹金鎖匙 治喉口瘡或口中一切痛之神

硝石十五錢

硼砂六錢

牛膝一錢

白芷辰砂各六錢

雄黃

二錢

至約二錢 右七味丸末以管填患處

青塊散 治癬

青塊 硫黃 嵌石 大豆粉半錢

右四味共研器直貼入敷損敷患處

溫中丸 玄胖

鹿茸木一錢瞻春錢鐵砂十錢用針粉葛粉七錢浮石少

右七味糊丸此方今有角

今用溫中丸

蒼朮 陳皮各十二錢厚蕊東四錢朱砂各四錢右七味糊丸

玄胖丸

大鉄砂十錢硫黃 葛粉各半錢右糊丸

香膠丸 治經閉帶下或牛足瘦弱或止漏血

香附半錢生阿膠 反梟 大豆粉半錢

右四味共研末每服一錢以溫酒送下

鹿頭散 治產前後及金瘡血虛枯瘦者

人參兩薄荷 荆芥各二錢皮十兩

右七味納鹿頭中以布研末白湯或溫酒送下

理中丸 治小兒一切虫症

薰蘆炒乾茶沙子各一錢蕎麥梗半斤右七味糊丸

順氣丸 治勞咳

阿片一錢沉香三分砂仁五分乳香三分沒藥右桂丸

鷄肝丸 小兒疳

山茱萸 山茱萸 大豆粉三錢神曲一錢伏苓 泽泻  
鷄肝一錢右燥賓或為丸空心送下

椒棟散 治蛇虫

苦棟皮大青葉椒三分右細辛頭一錢或二錢以白湯送下

鹿茸散 產後見諸症第一下子者

鹿茸 阿膠 烏賊骨 当歸各二兩

右一味大棟酒服方寸匕日三夜二

天石散 治毒頭痛者

芍药十七錢 天石十六錢 白芍三錢 右白术粉九

蛤蚧丸 下方虫之神

蛤蚧 苦棟皮 櫻花 蜀椒

左四味為丸白陽送下一加百部根

保代丸 五府或身痒或癰瘍

蓬木 海人半冬一丁子 木香 分荆芥香薷連  
下五厘右六味粉丸

硇砂散 正宗治鼻瘻初生橘子漸大下血名為鼻瘻也

硇砂一錢輕粉三分水片土厘雄黃三分右沙参

朱砂安神丸 心神煩亂發熱怔忡少寐或寐中夢起等

症主之 玄連 辰砂 地黃 当歸 甘草

右五味丸

消癰散 千金治石癰氣癰土癰夏癰水

海藻

龍胆

海蛤

通牛

昆布

与石膏一作若

松蘿タケノコ半夏ハナウカ半夏ハナウカ下

右丸味治下篩酒服方寸匕日三禁食五辛生菜

德本蠲虫丸 治疣虫者

海人ウニ大豆マメ

宿風

柏榔

蜀椒スルガ

白芷

甘草カンゾウ壯筋ザンキン一錢

右八味糊丸

宝花散 疥病之仙劑

荆芥四錢細辛兩降香三錢アラヒ麝金一錢

右丸味治頭三日清茶冷服

直殊散 治口中諸症

池真珠スミコロイ

人中白スミコロイ

人中白スミコロイ

人中白スミコロイ

人中白スミコロイ

人中白スミコロイ

人中白スミコロイ

人中白スミコロイ

百靈子

荷葉カキツバタ

甘草カンゾウ

甘草カンゾウ

甘草カンゾウ

甘草カンゾウ

甘草カンゾウ

甘草カンゾウ

冰片六分右細末

五嚙丸

唐橘子皂莢一錢 唐肉桂 干姜

各五分右三味糊丸白蜜下

漏胎露 世称根末黑茶者是也

去火用  
カ合用

右味糊丸服治諸失血 又產後崩漏帶下脫無或產  
后脫有小塊脇痛者又衄血不止者可吹入鼻中日

白陽送下

八味茴香丸治疝氣神

芥子 白朮 小茴 大茴 吳茱萸 荔枝  
核各一枳實青皮三錢

黑神散 產後血迷血暈

黑豆 地黃 当歸 肉桂 千姜 千牛 丁香

蒲子

右丸末每服二钱酒童便各半調服

一名金散

春林軒此方加牛膝熟附子治胞衣不下又產後兒枕痛  
及一切瘀血者患者主之

產后一奇方 鄭孤鳳散

辰砂 枯萎

各三分

右丸末白陽送下

矢笑散 治產後血暈

蒲黃 五靈脂

各三分

右二味同研

三葉內消丸入門陰囊偏墜痛引脇或生產傷時生水石

食差更 岩茱萸 吳茱萸 桔梗 川烏頭 茴香

蒺藜 青皮 肉桂 腎皮 五味 海藻 川練

子木香 桃仁 枳實 壓皮 石翁 右丸丸

冰胡散 治口中諸病

冰片 珠砂 云明粉 硼砂

賽金丹一號金丹 治瘻瘍便毒一切口石  
腫物及小兒瘰凡皆與之裹回生之妙若不發起者  
即發之不痛甚者即痛甚者即醒痛者則不痛  
吐者即止膿未成者消之已成者覆之宜是可謂  
癟瘻第一之藥而已

蟾酥 朱砂 雄黃 丹青 乳香 没藥 血竭  
焰蠅 蜈蚣 射杳 桃仁 細辛 全蝎 蟬退 鱗鱗  
僵蚕 天皂角 熬六白姜石 片腦

右為末端午日用酒糊丸綠豆大每服三丸用葱酒一小  
鐘吞下被覆發汗或吐或不汗再進一丸後喫白粥調  
蘇理忌烹瓜水茄一切動風之物

二丁香丸 治瘻瘍

瓜蒂去白丁香 巴豆 赤豆 班猫去頭足羽

白姜蚕 磨刀泥合三分右為丸

靈粉丸 玉茎將落反瘡口濕淹久難愈者主之  
輕粉 天石各三分梅肉霜兩半右三味糊丸

玉煎丹

治諸結毒

水銀

硝石 綠青 綠衣各三分共一錢

東肉合五分

右六味合搗和調一丸下以蜜蠅為衣日服丸白陽

遂下

土大黃膏 治田螺

雄黃一錢 山椒三錢 硝石一錢 檀腦一錢 明礬四錢

土大黃半錢

反蛇散 治凡犬及蟲毒咬傷

甘牛半錢 胡椒半錢 牡蛎半錢 破故紙半錢

雀目散 小兒瘡瘍癩瘍疾眼者

漆之蓋紙燒之用右一味

孤鳳散 治產血量

辰砂一錢 廣東人多一錢 枯否右為末白湯送下

蟾酥凡 治疗瘡瘍背脣疽乳癰附骨筋腿等瘡一切  
惡瘡反瘡不痛或麻木或呕吐病重者必久自憒此  
藥服之不癒者卽癒不痛者卽解未成者消已成者  
卽潰眞有回生之功乃急症中至寶丹也

蟾酥酒一錢 輕粉半錢 枯否 寒水石 銅綠 水香

沒藥 膽旁 射香各一錢 雄黃二錢 蝉脫酒研末入  
以上各為末稱準於端午日午時在淨室中先將蟬脫研  
爛再同蟾酥和研粘方入名茶共搗極勻丸如棗豆大  
每服三丸用葱白守患者自嚼爛吐於男左女右包

茱萸肉用生灰搗酒一盃鐘送下被蓋如人行五六里出

汗為妙甚者再進一服修令時婦人鷄矢等忌見

水堂枳壳  
机子半錢  
鹿頭骨九錢  
白蛇各半錢  
全皮十二錢  
龟脑二錢  
具珠三錢  
血竭五錢  
金箔三錢  
机子丸 治癩疾 一名補天丸

机子半錢 鹿頭九錢 乌蛇 半片 脑三錢 大豆一錢

血竭五錢 泡三下 直珠五錢 金箔三錢

右拂机子合諸系末丸服一劑九十丸十四日令服十五日服通

血竭三錢 分或一錢十七日後服

金鉢箇半錢 防通或主不附

一劑分六次  
十四日服完  
天神秘丸 治諸癩疾

大机子半錢 靈天蓋土黃  
一本作天石  
今復之 苦辛 櫻節

大黃 玄連 爐甘石 脑三錢 服部霜半錢

右八味丸末糊丸如木欒子大每服三丸以白湯下

權現公御袖末一錢三味湯

益智 唐木香 薤香 右三味

鷄壳應鐘散

應鐘散

右以鷄子白煉納殼中炒丹研以白湯送下

金龍散

爛眼抑革

鈴粉 丈 綠青

楚歌散 正宗如意金玄散是也 暈藥

玄药

大黃 芝 厚朴橘 甘 白朮 寒室

甘 白朮 寒室

花狗左方末湯同蜜調敷

家方堰東方

黑砂糖南 麝腦青木香立夷

右水末丹華水一乞烹糖國夫人餘茶

苦賣散

苦賣基

昆布ト等分

烹煮トモテ、本タ交ハシ梅肉霜交用

右四味各等分

### 丸散便覽序

一人問曰我每治疾按古方訣以道其言集神苦思求其旨趣而不如意其言者居多今視子之伎一七所投便無不應於手而有効矣實乃若養叔於射庖丁於牛焉敢問子之所見與古人之所見可以異乎所見一也所行一也然至其所行亦唯有精不精而已矣子若破其精于則在於明其善之所至察其病之所在以得其標準也請以射喻夫射者之將射也必心平体正持弓矢審固視鶩精明然後可以言中矣苟不審固精明則不失正者幾希是故審固者明其善之所至也精明者舉其為所在也

某之不明病之不察則不失權者鮮矣夫既竭心思  
焉繼之以應變權宜之策焉寓其巧智神定守固不  
為外物所膠不系其致游心於眞則幾於得其焉則  
於治病確不中不遠矣乃所謂精也友人曰請聞其辭  
也余於是奉丸散方若干乃述其所至與其病之所  
在示之友人隨而歸之名曰丸散便覽及編成遂為  
之序

寛政二庚戌九月望

薦囊伯行櫻

丸散方考

亨釐丸 治大便難心下痞滿之屬而煩悶者  
此方所謂三更丸ニテ 即大便亨釐(原トヨ丸トセキ)金  
匱ニ只泻湯ト之 出又故三名三金匱泻(向正云主治大使  
難ト云下便難スルモアリ)准セサルモアリ或下利之者用  
コモアリニ一様ナラズ考方ノ説、取左ノ方ヨリユヌニテ痛末レ  
ノリ心下痞硬アリテ或吐血レ或下血、或衄血者アリ  
何ニ其證ニ佐フニ庶去之考方コ服レラ止セ療快ハ  
搗タノ餅ヲ按スカモ也右ト云ハ一物有テ中空丸亦卷

レニ軟云ハ北ノ下病硬ト云其脅ガタキ

大呂丸 治毒迫ニ下而心股卒痛急痛者

考方所謂備急田ニシテ後世承之從モ多用テ諸加所也後  
世多食毒ニ用ヒ氏ヨンテ有<sup>レ</sup>含毒ニカキラスツ毒アリ  
テニ下迫急痛不<sup>レ</sup>者用ユナリ最<sup>レ</sup>ト大便或股脚  
急痛多罗又微冷在脅子難キ者皆此方ヲ用ユナリ

大簇丸 治心下病硬不大便者

火方ハ苦味強故<sup>レ</sup>言連トナカヒ心下病硬有大便通セ  
ナニ用ヒ主治<sup>レ</sup>便字一眼<sup>レ</sup>ニ下ヤト高リナリテアリテ  
指ヲ以按之、腫キアリニシ強不<sup>レ</sup>示少トカクギテ又高シ硬<sup>レ</sup>

夾鑄田 治股中有堅塊而丁<sup>レ</sup>下病硬急痛者

考方所謂消石大田ニシテ千金三出テ消石大<sup>レ</sup>有田云<sup>レ</sup>主  
治二股中有堅塊<sup>レ</sup>ハ中焦以下ノ<sup>レ</sup>ト心下病硬ト人今  
ニテ<sup>レ</sup>ミ急痛<sup>レ</sup>甘牛ニツ<sup>レ</sup>者三<sup>レ</sup>車洞翁ニ癒<sup>レ</sup>方ハ婦人  
小服塊<sup>レ</sup>ニ用ヒ男子ニモ免角中ア<sup>レ</sup>以下之物有用<sup>レ</sup>立  
姑洗丹 治胸膈有毒而喜吐延沫咳唾掣痛  
考方所謂控延丹ニシテ免角胸膈<sup>レ</sup>分ニ<sup>レ</sup>毒ヲ去ル事  
其證喘氣アリ<sup>レ</sup>或ハ胸膈分離<sup>レ</sup>痛<sup>レ</sup>或ハ心下硬滿<sup>レ</sup>或<sup>レ</sup>  
咽喉<sup>レ</sup>ト<sup>レ</sup>ト<sup>レ</sup>ト<sup>レ</sup>鸣<sup>レ</sup>延沫<sup>レ</sup>吐<sup>レ</sup>及胃<sup>レ</sup>者<sup>レ</sup>キ者マリ量<sup>レ</sup>  
皆飲<sup>レ</sup>故考方ヨ水腫ニ用<sup>レ</sup>ナリ喘氣アリテ胸膈<sup>レ</sup>全

水氣集リニ安臥、難起者ニラ用ユル也多水氣ハ喘  
ノル故ニ喘スル者カ皆此方ノ主トスル。ガリニラ子共大  
方ヲ用症必入痰咲的トス至ラ用モバ其初アリ不著モ既ヨ咲吐入最痰タシテ吐テ而喘シ或咳不  
可的ナリ故ニ哮乳モ用元シ

仲呂丸 治腫滿小便不利不大便腰痛者

セオ所謂の神丸ニテ寔腫之服滿腹部ニ物マリニ希  
ニ便不通或腰痛トアル者用ニ常ノ水腫ニテニ寔  
腫ニテ腹部ニ物アリ大便十日モ不通テ之ヲ用ニ  
方ハ下功スルトシ、腹痛ゼザル故不得已水ヲ急ニ  
スキタキ時始洗ハ上三羊、独賓ハ腑痛甚シキ故之ヲ

用テヨシ故ニ婦人轉胞ニ止方ヲ用テ其集也

独賓丸 治脚腫而痛小便不利不大便者

セ方所謂平水丸ニテ專胎以下ノ水ヲ去革ニ故ニ  
囊腫或、足太脣腰重者皆之ヲ用ニ止方ニ用ヒ必  
筋痛ス其初必コトヘリオノベシ

林鐘丸 治心煩心下痞不便急迫者

セ方所謂甘連大青之モテ、甘草等分ニ至多ヨリ甘連  
ヲ強ク入カヨロニキニキ方、證急ニテク連キ用ヒヤウチ  
塲用ヒニ先レ民中暑し暑毒心下ハミキニヤウチ处  
用テス其異也

夷射丸 治肺中有堅塊而見血證者

此方、東洞翁ノレシ方也。血證ノルト、吐血三升無ク下  
血手モ無ニ。脇二盞血有ト也。但シ吐血ヲモ脇盞血也  
矣ヲ用故也。此方ニハ桃仁大半合ヲ通ユ。婦人之血塊ヲ  
止ムカニテ通スルナリ。此方本東洞翁ノ抵当丸也。キカスヲ  
リニ製セラレント。

南弓丸 治胸膈有毒石喘者

此方ノ所謂滾痰丸也。ニテ加減セシ方也。姑洗丹ヲ用テ  
ホトト鈍ヨリテ子元心下レウタリテル也。痞硬之キニナリテ  
痞硬ニアツヒニモ、製角ナリ。唯心下ノニニ喘咳不寧也。

無射散 治諸瘡膿汁出者

此方、東洞翁ノ腹汁出也。瘡類敷至兩爻也。方也。甚  
不面白也。故參別三味ヲ製。左無射散也。其方也。

左 桔梗 大豆 角石

右、麻油末也。此方ノサリナリ。禁入諸瘡膿汁有

モノ通用テ最効アリ

應鐘散 治諸證難治而上衝不大便者

此方所謂「うちあ」主治ハツトケル也。ニテ桃仁也。  
方、諸毒上衝ニテ治シ難ク大便不通者ヲ治スナリ。  
方中大豆ヲ必用。製角ニテ用ベジ生薑用六八諸ナリ。

右十二方称十三律丸散葷固名所常用也

毒剤

防風通聖散

主治

モ方、毒アリテ上部へ末ん者ニ用ユ豆人之ヨエハ子トモ此  
方ハ下アヘ未ス唯上アヘ未ニ一粒レモ芳草ニモト  
日知ナレモ芳草ト其効單的也此方ハ父ナキ度シ  
○此方酒製ニテ散トナシ諸原毒ニモ神テ貞免  
テ、用古人ノ多々マセ丸所ナシモ今用度ナテ効ラ

得丁多レ故ニヲ初ニ奉ル

伯州散 治諸瘧毒成者

此方和方ニミテ类方甚多レ皆奉ル所重洞為常用  
止方、モ方セ腰三成テ後、用テ功立不向腰氣辛キ  
用ニハナラシテニトウニ少ニモ腰氣出来テアヒ急ニウ  
ニ也、主治中之成ニ字、眼セドマニ在テ乳癌十人庚  
瘡痛甚者六川亨ヲ加ヘ下部ニ在者ハ大亨ヲ加用

梅肉散 1升

此方ハ凡謹瘡連綿ト愈カズル者ニ用テ之ヲ下毛凡  
瞼瘻或、瘻トノ類スニテ本ナガサテモニ連歸トシテ愈

難キ者ニ用ニ微毒テモシサノメリラ不愈者ニ用ニ  
方ヲ用ニ其翌日必研仁塘和キ赤者ハラリト丸ニ  
凡毒腫ナドノ余毒クリニ體汁出ル者ニモ之ヲ用ニ  
瘡ニモ用疳瘡ナド、食茎ニ毒アルニハ土火大ニニ用其  
用抹ハニ茯苓ニ行モ用ル間ニモ方ヲ六七度用テヨシ

七宝丸 治

服法毎服四トロニ服之丸六日至七日止服七宝丸而後  
服紫臼毎服半ト日二至六日止後服以待口中腐爛  
愈而後復者復服丸系め初若輕者服七宝丸每服  
四ト日ニ一服之丸二日至四日止服七宝丸而服紫臼無服

五ト日ニ若病重者倍日數役其同而服

此方東洞翁所用ノ服法初ニ物已豆丸ニ以後服トセ  
ラニナレル後紫臼ニセラレント今ハ紫臼ヲ用ニシム物  
備急用ニキ方結毒骨痛ノ類ニ用元ヒイツニモニモ  
用ヒタマトテ、備急ニテ下スカヨニキ方端的丸ト其相  
似タニモ彼ニ比スレハ輕粉タリレテスルトナル故用難<sup>(能)</sup>  
カキラズ諸何ニモ痼疾トナリテ諸事カク及難キ者ニ用ニ

續七宝丸

服法ニ服七宝丸法方前七宝丸用半量十丸其

證今一イキ者甚<sup>シ</sup>結毒十ニ<sup>ニ</sup>骨痛殊<sup>ニ</sup>ニ<sup>ニ</sup>者

六乞ヲ用<sup>ル</sup>ナリ

端的丸

此方ハ七宝丸化毒丸ト其効相似<sup>シ</sup>最速<sup>ニ</sup>ヤサ故  
ニ久服セサレ<sup>キ</sup>カス不知<sup>シ</sup>在<sup>シ</sup>多角<sup>シ</sup>バ極<sup>シ</sup>更<sup>ニ</sup>三<sup>三</sup>モ眼  
眩<sup>シ</sup>ヨキ故<sup>シ</sup>服<sup>ル</sup>ノヨ<sup>ク</sup>難<sup>シ</sup>モテ<sup>シ</sup>用<sup>ル</sup>少<sup>シ</sup>良  
服<sup>ル</sup>シムヘシ急<sup>ニ</sup>用<sup>シ</sup>速<sup>ニ</sup>氣<sup>ニ</sup>故<sup>シ</sup>毒氣<sup>イケタリ</sup>ニア  
トモドリスル<sup>シ</sup>古人皆病丸<sup>ヲ</sup>多用<sup>テ</sup>誤<sup>ル</sup>トタシレ初  
ウナ少<sup>シ</sup>長服<sup>セ</sup>也<sup>シ</sup>多用<sup>シ</sup>眼眩少<sup>シ</sup>テ効<sup>多</sup>  
ニクロ<sup>シ</sup>ト用<sup>コ</sup>ニテオキニ急<sup>ニ</sup>効<sup>ク</sup>立<sup>レ</sup>ト丸<sup>ハ</sup>ス力

化毒丸

ト用<sup>ル</sup>六<sup>六</sup>丸<sup>系</sup>用法<sup>シ</sup>此方モ痼<sup>シ</sup>結毒<sup>ニ</sup>用<sup>ユ</sup>結毒<sup>三</sup>ニ<sup>三</sup>ナ  
上穴<sup>ノ</sup>アキタ<sup>ニ</sup>用<sup>元</sup>ニ此方モ後<sup>ハ</sup>化毒丸<sup>ニ</sup>用<sup>シ</sup>必衝  
逆<sup>シ</sup>然<sup>ニ</sup>此方<sup>ノ</sup>カタ最衝逆<sup>強</sup>レ

夫方ハ用<sup>テ</sup>アトセトリセ<sup>シ</sup>凡<sup>シ</sup>毒痼疾ニ端的丸<sup>ハ</sup>毒  
氣輕<sup>キ</sup>方<sup>ニ</sup>用<sup>ヒ</sup>テ方<sup>ハ</sup>毒氣強<sup>キ</sup>方<sup>ニ</sup>用<sup>ル</sup>ト竟<sup>は</sup>ジ  
痼<sup>シ</sup>毒<sup>ヤ</sup>ミシ<sup>シ</sup>在<sup>シ</sup>ニ<sup>ニ</sup>毒氣<sup>前</sup>證<sup>ヨリ</sup>一<sup>あ</sup>シ<sup>キ</sup>ニ<sup>ニ</sup>必此  
方<sup>ヲ</sup>用<sup>ユ</sup>或<sup>シ</sup>輕粉劑<sup>ヲ</sup>用<sup>テ</sup>及<sup>テ</sup>骨痛丸<sup>草<sup>ト</sup>皆<sup>セ</sup>方<sup>ヲ</sup>用  
五室丹<sup>ハ</sup>結毒筋骨疼痛腐爛<sup>口</sup>裏崩潰<sup>レ</sup>  
諸<sup>事</sup>不効者此方<sup>ヲ</sup>書<sup>シ</sup>出<sup>テ</sup>世人<sup>ノ</sup>知<sup>シ</sup>所<sup>也</sup>世<sup>ニ</sup>多</sup>

用元故委方モア多シモ方ハ免角リアノ結毒ニヨレ鼻耳  
目ノ損スルカ頭痛甚ヤト云妻之一人口瘡アナウカチラ唯外  
へ突起レ疼痛甚リ飲食ヲ絶シ諸事不効將死者ニ此  
方敷肩用テ効得凡上アノ毒用レ夫妻三ツ必シモ微  
毒ラギラズ効アルヲ知レ

生ニ乳　金鷲砒

ニ辛主治客

下利

滾瘀丸

夫方車洞氣南呂丸ト相似也其効亦相似有故焉

喘咳ヲ主ニヒ方ハ南呂丸コ用土上硬クリ丸所ナシ其  
證癥飲以ヨリテ瘀ヨ吐テキレス瓜蔞枳實以導半瘀トテ  
用テモ今一不キ効ナリ瘀キシ難者ニキ方ヲ用テカラ假ナリ  
浮石丸　治股不満其人言義滿而股脣見者青筋者  
是俗ニ云アライラニニニ股ニ青筋デキニ筋デキニ筋者  
反癒セリト云尾其實股満セサルセ此方夷則丸用ル堪  
合似タリ

十束丸

夫方ハ肩ヘ凝ルヲ仰胸膈掣痛云及于肩ヨリ肘至  
手迄ナク右手先テ酸痛不亨ト是肩ニヨリ甚

故ニキ方モ志下ノル心中燒ニクニ广癆不ル者モ飲因ル  
者ニセラシ用テ飲ヲトナリ又咳嗽胸膈引取ヘカニテ  
背引痛ニ用エヤハリ掣痛ニシテハ喘ナシテモ用元ニ  
或啖ニ或喘ニ或ヒビレ杯スルニヤケリ季方ニ用承氣病  
ニテ股下痛ニ或公子ヒツハル或ハキシビトニ云者皆此方  
用ニ或肩重ニシテ用エキ方ハ多角鉢四支流者ニ切  
リ本ハ支歎ノ革三テト六ツノ斗ノ様ニシテ半少レ庫ニ  
姑洗トハ先場ノカス似先様ニテ大異ナリ

紫草

走方ハ胸膈ノ介ヨリ腑ニノ間毒ヲ取ナリ結毒アリニツツ

手ニアタニ者有カ心下入凝テタル者アリニ或ハヒハ化者  
用ニ然ニ不利不者ニ下サシト火驚八十ノ羹或ハ瘳ノ  
リ或ハツハル者凡庸ニ何ニテモ股塊アル者ニ用元ニ  
コニハナシ此革本反脹ヲ主トル故ニ積聚十トニ用ユスベテ下  
カラ衝マケルモノヲ治スル也此方喘氣ヲ治スルハ止ト押シ下  
止有者ハ吐セテヒウ故治スル也今テ物ヲ内テ入孫丸者  
或ハ昏冒丸者十トハ皆病心ニツリ也夫方主之

通經丸

夫方固ニ服セシムベシ本酢テ服元苦十尾酢ニテ其服  
テテレ故ニ以酒代之酒ヲニ得飲ス者湯ニテモ苦ガラ

是小腹塊ナリ只經用者用也經用家ニクリエ  
カラス者用ルセ

### 抵當丸

上方ハ必酒三服ニベシ後葉中方シ功ナシトメ用ルハ用様  
アレキ故ニ多服セセシ功ニズ方ツラ見テテ癰丸ニ夾  
鐘曰キリナラニ患ノ故用ルコラ歎ニ至ル上方ハ元長  
角ヘシ瘀血ニキニ未入三日矣也未カカラスモニ  
功アリト腰ヲチヒトノ痛心地甚零リ下利ノ小便委  
便モ赤キ血ムモノレリ未考方經用家ニカキラズ唯小  
肢凝モアリテ盡下力ヲ極メ知外用ヘ

### 吐剂

#### 泄湯丸

凡吐剤苦味ノ物也上方ハ苦味甚ニテ下方メヤカル故ニト  
用胃方ニ凡吐スノ病證ニム事最ラ用准ヘキ方ヲ  
用ニ宿食ヲ主トメ虫積ニモ苗飮ニモ上ニ在テ吐スベ  
キ者皆用ニテモヨシ吐セサルハ勿開キ下ニシテ呪引ノ呪文  
塩湯ヲ以テ吐不丁モ執陽ニ塩ヲカラキホト入レバラクモ  
用元ノナリ全事ノ一家傳之初ノ手ニユガヌ者ニ

### 雜方

#### 通串

方、大簇丸功相美也。下公有大簇丸下  
利セカル者用此方、下利カル者ニモ用凡苦草用  
龍骨ソキ証トニテ言後九十用准ト云者、必此方只心  
下ニユリノカル者ヲ開也。故中古者、痼疾、寒氣皆是用  
傷寒二種下利スル、下瘀血、久病者、利痛  
△證アリ。玄参湯、証見ヘ又淨府湯、如ニモ見ニモ 証  
是ヨ用ニ独ニ用之、稀ナリ。世ニ苦草服之、  
必愈ト云。積氣持有此証、方最ヨロシニヨリテ  
安効ヲ知ベレ

### 心連散

失方產前產後、量倒反諸事倒治、不聞者、量  
リ吹エスヘ本產前後、延齡丹蘇杏圓、差用毛ト  
不候故ニ失方ヨリ、制之服法ハ水ニテ用土虛脱者、三白  
湯三手用ニ夏日少火丸ニオカサレ眩暉トシケトメトト  
爻ニ少ク水ニウケ用ニ乍愈是ニテ功コ知ベキ才修ニ云  
キケナル者ニテ最易用方也。

### 七種采口

失方、立葷例ヨ治、後世所謂平中凡素、凡杯、量倒  
諸ラレノ疾、延齡盛元者ニ、姜汁以之ララ、先ニ產  
と前後用ヒアシニトニテハ害無し。多用ニヒ大ニ

キアリ延齡丹モ亦然リニ便不通諸下利キカサル時  
き方ニ豆ヲ加用ヒ巴、瞑眩少クシテヨク下交ツ麥  
ズナリ

### 加味金鎖匙

此方咽喉疼痛口脣痛小兒鵝口瘡等ヲ主最優  
癰鵝口瘡每少々五次吹キ入ヒ足リ治ス其初ラ以  
テニルヘ

### 良姜散

此方專ニ頸中毒ヲ去リテサ生末或ニ頭中三处力  
タマテ頭痛尤名有此等ニ管コム鼻中二吹入レ、能

治ス此方能欽ラキニ頭毒頭中立リ頭腫或ニ鼻中之癰  
内生スニ姜皆之ノ用治ス此方ノ主治(赤水玄珠詳)

### 丸散用法

大凡泻下ノ剂ヲ用ヒハ用テ後病証少退第効アラハト  
ニ不便不下レハ全効ナシト知ヘニ必ヨリモトニ  
總テ心下ニアリニレ病丸散ヲ用テ病退ヒハ又四支甚  
少ドウモナラヌ様ニモアリキ急迫ヨリ充故ニ即効効ル  
凡甘遂服不六二言、或ハ十日モ食味ヲ失ヒ不食ナル者有ヒ  
余リ其証アリテモ胃口ニ惡キ所アルカ或ヒ脾氣疲<sup>テ</sup>甘  
遂堪サル故也實其的セサル也然ニ不得已不食シカ

リス用レニ寒甘逐猛烈堪故ニキツカニナレサテ  
食坐ヘトコトヘリオノヘ

凡攻劇ノ下剤ヲ用テ下利メ後腹痛スル者アリ病家必加  
先ヨリ茅ニテ病証合ケモ股痛ラクニシム此者方茅甘  
牛乃或ハ建中湯ヲ用元證モアルナリヘ  
凡諸汚下ノ剤服シテ下利已ギレハ七味白朮散ニ調和  
ズベレ又豆ノ剤ニテ下利不已者粥ヲタキ水ミヒヤン与  
フベシ

### 用法拾遺

凡方茅ノノアテラ知必不其似テ其近尤者ニ知べト萬  
難搔痒ノ所アリテハ茅ヲ用テ金刃ヲ以テ決テ多下知  
シ姑洗ハ胸ヨリカイ十二至リテ疼痛背ニ微ク未リ咽  
く口者用之症ニ下ヘ未レ必喘ス但心下ヘ未ニヒ十度  
心下ニ比スレハカタリシテ飲未シヤニノ異ナリ  
十度ハ背ニ功ニラ背ヨリ項ヘムニ皴ツメテ甚苦ト云者  
最功也ニ且ハサキハ未ルヤ但トヲトモ毫ホト飲事テ  
ニ不喘羣痛トニ引ヘルヌ<sup>ノ</sup>痛  
大陷胸ハニサキヨリ脇ニテ板ニナリテ背ヘモ未リ  
皆股共ニ凝者ナリ十度ヲ小脇ヨリ胸下鞭満ニ未リ  
草モ九ヨリ背輸ノ邊ヨリテツキ瘀者ニ用ハ活テ

腰枝シテ甚キグウシテハ文箱胸ノコテ

右三方ミテ分カル知レル

姑洗ハ中アヨリ上ヲ主ル雅賓、腑下ニ効アリエ未中脱ス  
下ト知ヘ事脇下ヲ主トリテ足部三モ主ル、走丸眞眩マツクニハ  
必小股痛也中部水氣、仲呂コトヒ足下至アモキカ奪  
ニ股部コキルニ丸事用ヒ部位ヲ分見テアリ肝要コトヒ左  
三方ミテ知ヘ紫因ラ用ヒ塊ブロク同當ドウドウ塊ブロクニモ用元コアリ是  
アリ塊アルニ用ニ害アリトハ多ニ然塊無ニモ用元コアリ是  
ハ心傳心ニテ絶考服セレベレ初心之難知者也

紫因シタツイハ一時功ラ奏シテ長服セレノ難ニ姑洗十ト長服セ

ナニル也、先レモ飲ニ当ル處姑洗ヨリ十束ハシナ分ドレ但其場食

各異也紫因ハ下利中ニテ用易カラヌ方也

仲呂ラ用テ後大便ノ下ト心ト水ノ下ルト大便後通ニ  
快ヤ否ラ問フヘ是ハ大便秘モトニモノニ对メ独リ

十束ニ用テ便不下者股不痛者等ナリ、又十束陽

剝シテ目的シテ且其飲シタツスベシ子ハキ飲ニテ束陽用元ト  
ナニ其レハ疼痛尤溼延丹ナド用ヒ是必誤リナ・内島氏  
曰按ニ脉沉而弦有懸飲内痛トアリ脉沈ヲ流飲トス  
弦ハ肝脉ニ是流飲股下ニ止ニテニシテ即懸飲人咳逆  
咽痛入故ニ内痛ト是十束陽ニ宣レ充丸、辛桂水ヲ

散山大戟ノ苦根水ヲ泄ス甘遂直其飴所ニ連シ結スル  
所ノ苗飲ヲ逐フニ物皆峻削タルリテ大棗ノ甘ラハテ  
生ラ緩アスセ苗飲ヲ下ス強剂ニ又苗飲因テ胸腹痛  
ニ肩背ニ徹ニテ痛甚シ或嗽嗽ノ胸下ニ引痛スル者此  
方ヲ用テ大戟アリ張子和方ニ牽牛子生薑ニロ三花  
神祐丸ト名ニ湿丸ノ諸症ヲ下ス今脚氣積聚疝氣  
流慾下ニ衝ニテ欲死者或湿丸服滿者其人下ス堪メ  
者數用テ知マリ

又曰婦人癥經用或ハ為塊者其痛甚者抵当湯ヲ屢  
用テ効アリ若不痛シテ其塊堅自若トニテ動カサル者ハ

用ユニ氏効ナレキ時抵当丸ヲ以テ緩ミ攻吉ベニ左方中  
蜜虫ヲ虎杖ニ易ヘ用テ甚効アリ又虎杖煎ニ方十全  
出其方生虎杖根數百木切刻水一斗ヲ以ニ煎ニ酒ヲ  
加ヘテ又煎シメ晝ノ半丸ヲ交テ丸トスベシ虎杖和名イ  
タドリ高山ノ物好ニ云リ瘀血經困用テ能効アリ

## 帰金丹

黃柏少黑  
犀角各二兩  
吉更  
黃連  
川芎  
芍根  
白朴  
連肉  
黑姜  
大茴香  
蘆薈各四  
桂枝各四

支連 千冬

若ノ多々而魔多之介

方石 二丁又

サハタカシ

鐵粉

鳥鉢櫻

蛇倉石 各半方

化

瘡九

ミツ

肉

ミツ 反六下

統七宝燒玉  
セイトウ

トトロ向廻六下

方中東肉丸

為七十粒辰砂為衣

諸家丸散方

神効丹

松脂十支月上加三丁子 雞冠石

辰砂各五

鉛丹三支白丹砂二支

右糊丸白丹砂ヲ加シ大抵十分之二至三

主治

癩

梅毒アカシ

大股痛 嘴瘻 刀利 癲癇

瘧

喘息スムテキ 年青人寒偏枯

通氣久不食

血塊クモク

諸家不

服量一日三下ヨリ五ニ至ラ度止入

右用丸三日煎引三分丸用イテ下利兩三行トリテ  
其後用エジ先初少シ之ヨリ漸々三增加シ内丸ノ用レハ  
眞眩甚多シ出に者ナリ終ニ斟酌シテ用エジ天刑十二  
用元甚多シ用レハ治セスナリ先ニ彼ニ右ノワニ談  
シテ用エジ先ニ用エジ松ラサレハ服事セサル前ヨリ惡ノ成  
眩先ニテ用エジ松ラサレハ服事セサル前ヨリ惡ノ成  
八宝丹 治肺噎及會或腹脹黑之物塊百治無効  
礞石 研破 雄黃 明礬 輕粉 研破半硫  
童水飲 燒水送下一服三厘  
大黃起瘧丸 治瘧疾

大黃半支生藤三支

玄連起瘧丸

玄連半支生藤三支

二味起瘧丸

大黃五分生藤各三十五分

五味起瘧丸

大黃五分生藤一两 当归 四两半生藤五分

又ニ大黃四两甘草用三升或罕

麻沸酒

合水堂序  
三方  
川茄子 一方  
白芷 一方  
鳥頭 一方

又方

皇星 一方  
夢六 一钱  
南正 一钱  
正芳 一钱  
白月 一钱

拔毒

枯眉 二钱  
白砒 一钱  
雄黄 二钱  
乳香 一钱  
辰砂 半

蜜陀

与石 一钱  
白眉 二钱  
蜜陀 半钱

カラマシコ

與石

セツトシ 槐木ノ枝葉氏ニ燒テ 底十シ竹筒ニ入ト下ニ孔ヲ穿テ  
上ヨリ湯ヲ入ル、其底ヨリモルヘキノ所ツ並レテ立  
槐木灰 五分 滾湯 四ケナルヲ用エ

嗅豆

粉半鉢 一钱 沉 二钱

朱 一钱

治代指

綠石、硝三子燒り匙上貼

塗麻枲 言雄

蜘蛛

班貓

金凡牛皮

巴豆

樟脑

下生毛 一钱 右乃末以生毛け練テ酒三升入

決勝

麒麟血

名石異

又方 右二果 鷄子高ニテハ俗稱サスベレ

硫黃

白曉辰

征虫丸

黃柏 胡連 茄子  
皮 百十粒熟研二十

黑參益丸

瑞竹堂

鳥類 五靈脂炒過

乳香 沉香

癩癪奇方

加州多賀氏方

李連

金木李鈎藤 大黃 雷丸

雀風

黑牽牛

白丁子 紫金鱗目

沉香

朝鮮參

消痛烏方  
皂角 甘牛膝各立服

牡蛎 地黃粉

枯黃瘡上膏之

古痘附藥合水堂

金丹

阿膠至多少方

猿頭丸 同治微毒頭痛

猿頭丸

右制丸

文政三年  
十二月十五日於嚴子  
李騰寫焉

龍門老叟

李騰書於嚴子

